

子牛用人工乳「ハイパスフード40」のご紹介

○ 人工乳を使用する意義について

子牛を飼育していく上で、人工乳（スターター）の給与が重要であることは広く理解されています。

人工乳は子牛にとっては離乳食であり、各社とも消化吸収の良い原料を使用しています(図1)。また一般的な1日4L程度の制限哺乳をした場合、子牛の発育は、人工乳摂取量に比例します(図2)。

したがって、子牛を大きくし、健康に飼育するために、人工乳は多少値段が高くても使用して頂きたい飼料です。

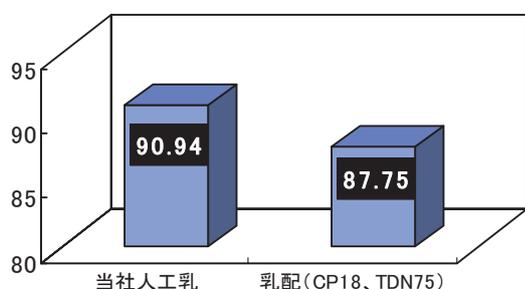


図1 配合飼料のルーメン内分解率 (%/24hr) (雪印種苗、2002)

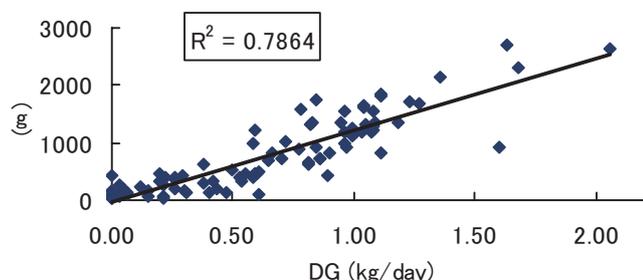


図2 増体と人工乳摂取量の相関 (雪印種苗、1999)

○人工乳「ハイパスフード40」

「ハイパスフード40」は、ペレット&フレークタイプの人工乳で、保証成分は表1の通りです。

表1 「ハイパスフード40」の保証成分

CP	Ca	P	TDN
20.0%以上	0.60%以上	0.40%以上	74.0%以上

また「ハイパスフード40」の特徴は以下の通りです。

1. 当社独自のバイパス蛋白質原料を配合
2. 嗜好性、消化性に優れた原料バランス
3. ヤマイモ抽出物を配合
4. 飼料用酵母、枯草菌発酵抽出物を配合

「ハイパスフード40」は牛の品種を問わずお使いいただけます。下記に示した当社試験では、「ハイパスフード40」給与牛は、ホルスタイン(図3)、和牛子牛(図4)のいずれの場合でも、子牛の発育(体高)が優れる結果となりました(下記グラフ中の実線:ハイパスフード40、点線:対照区)。

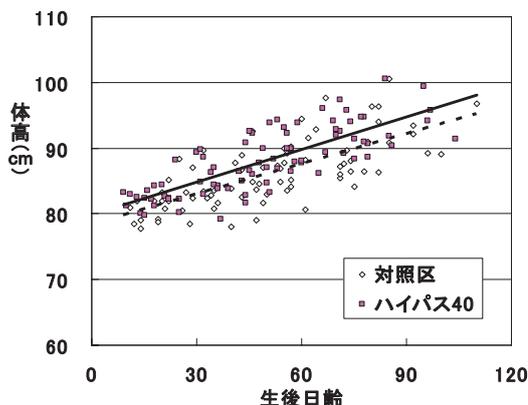


図3 体高の推移 (ホルスタイン) (雪印種苗、2008)

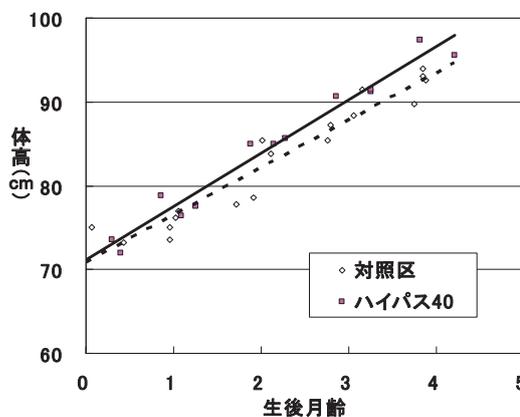


図4 体高の推移 (和牛) (雪印種苗、2009)

人工乳をよりよい子牛管理にお役立て下さい。

(飼料研究グループ 阿部)

雪印種苗株式会社

編集発行人 岡村 一範
本社004-8531札幌市厚別区上野幌1条5丁目1番8号

TEL (011)891-5911

FAX (011)891-5774